

# 国民健康保険病院事業会計 令和6年度決算状況について

176,600,727円 純損失

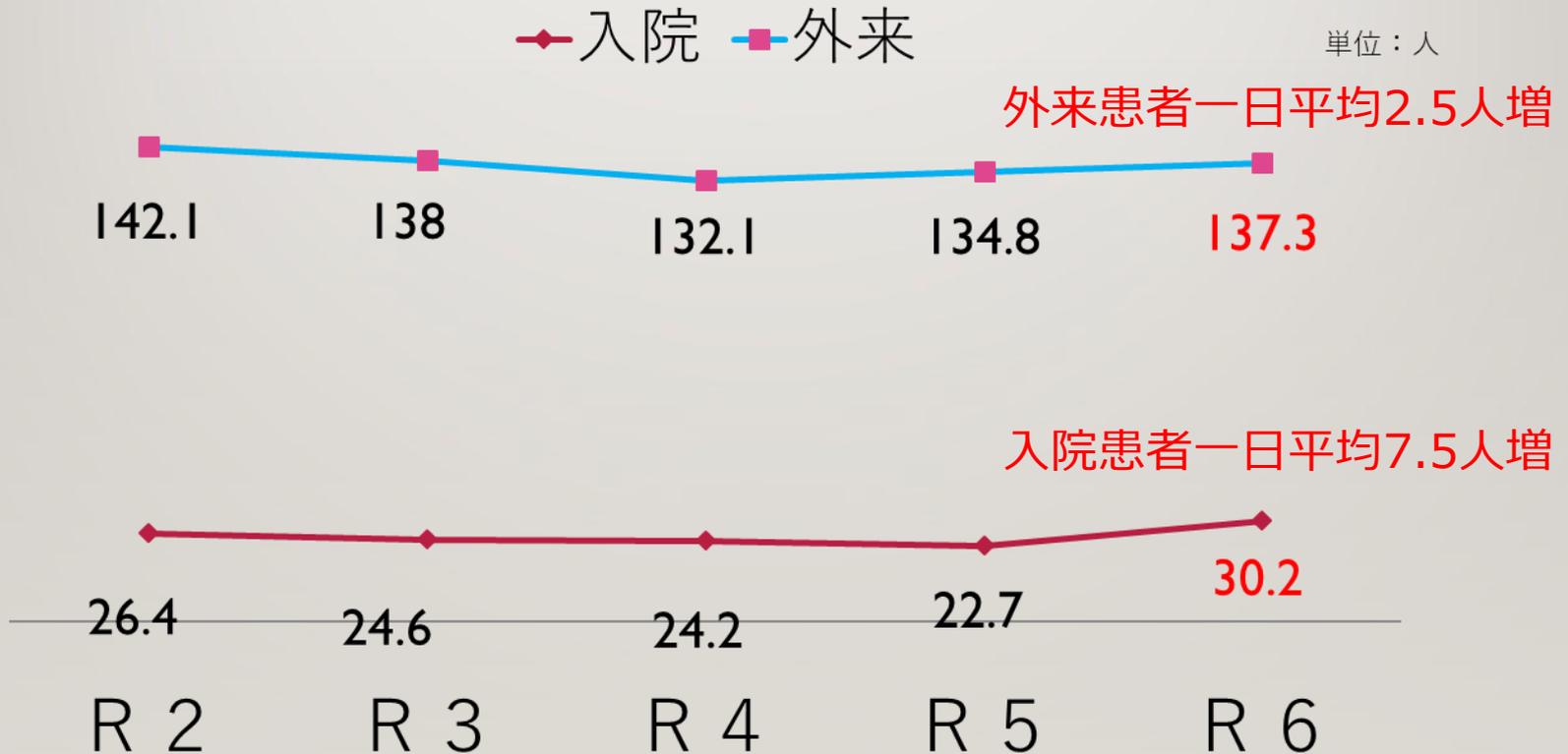
---

令和7年度第1回病院事業運営委員会

日時：令和7年7月29日（火）16:00～

# 医業収益に直結する患者数の推移

## 一日平均患者数の推移



# 交付税と医業収支比率の推移

医業費用に対する医業収益の割合比率が高ければ経営が安定するが…

【コロナ禍 黒字決算との比較、補助金・交付税額の推移】

令和2年度 59.6% 交付税4億5千万円  
コロナ関連補助金約8億円 6億円の黒字  
※実質2億円の赤字

令和3年度 56.1% 交付税5億円（※算定方法変更・単価増）  
コロナ補助金約9億円 8億円の黒字  
※実質1億円の赤字

令和4年度 62.7% 交付税4億円  
コロナ補助金約8億円 7億円の黒字  
※実質1億円の赤字

令和5年度 57.1% 交付税3億7千万円  
コロナ補助金約1億円 1億7千万円赤字  
※2億7千万円の赤字

令和6年度 62.6% 交付税3億5千万円 1億7千万円赤字

物価高騰、人件費の増、交付税の減額等 マイナス要素増えていく状況

# 交付税の算定変更について

●交付税措置は、全国に医療提供を図るため、特に採算が難しい地域等に国より交付税が交付されるものです

●交付税措置は、不採算地区に対するもの、医師派遣に対するものなど様々な算定要素で交付されます

そのうち、令和2年度より病床数に対する交付税算定基準が変更となり年々減額になっています

## 【変更点】

令和2年度までは、許可病床の99床（稼働病床数）に対して交付

令和3年度以降は、1年間で最も使用した病床数の最大使用病床数へ変更

※ただし、直近3カ年減少状況を踏まえ経過装置あり

※約1床あたり300万円程度交付される

# 令和6年度決算について

## 収益的収支

### 【事業収入】

単位：千円

項目	R6（見込）	R5（実績）	比較
医業収益	859,064	775,119	83,945
医業外収益	391,725	462,153	△70,428
特別利益	2,307	2,377	△70
合計	1,253,096	1,239,649	13,447

(医業収益 内訳)

単位:千円

項目	R6 (見込)	R5 (実績)	比較
入院	386,239	309,591	76,648
外来	387,394	377,177	10,217
その他	41,406	44,326	△2,920
他会計負担金	44,025	44,025	0

## 【事業費用】

単位：千円

項目	R6（見込）	R5（実績）	比較
医業費用	1,371,697	1,356,418	15,279
医業外費用	57,945	54,987	2,958
特別損失	155	1,000	△845
合計	1,429,797	1,412,405	17,392

# 令和6年度決算見込み（まとめ）

医業収支面では、患者増により収益、医業収益比率ともに向上し、経営改善されていますが、前年度と同様に赤字決算となっています。

△176,600,727円（前年度比△3,842,630円）の赤字決算です。

医業収益では8千万円増加しましたが、物価高騰による費用増及び補助金の減額、交付税措置においても減額となったことから、前年度と同様な赤字額となっております。

報道などでご承知のとおり現状の制度内容では、当院のみならず病院経営が難しい状況にあります。次年度以降も厳しい事業運営が予想されますが、病院全体で共通認識を持ち、医療の質を保つとともに、経営の安定化を目指していきます。

また、今年度は外部の経営コンサルを活用するなど、継続可能な事業運営を展開していきますので、今後とも皆様のご助言、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。